



## 2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年8月5日

上場会社名 浜松ホトニクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6965 URL <https://www.hamamatsu.com/jp/ja/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 晝馬 明  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 管理部長 (氏名) 森 和彦 TEL 053-452-2141  
 四半期報告書提出予定日 2021年8月6日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年9月期第3四半期の連結業績（2020年10月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	121,866	18.0	23,488	45.9	23,589	41.6	17,881	46.9
2020年9月期第3四半期	103,254	△4.4	16,100	△16.9	16,664	△16.6	12,175	△20.1

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 21,983百万円 ( 83.6%) 2020年9月期第3四半期 11,973百万円 ( △3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	115.50	—
2020年9月期第3四半期	78.65	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第3四半期	286,255	229,382	79.8
2020年9月期	271,615	213,515	78.3

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 228,414百万円 2020年9月期 212,680百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2021年9月期	—	20.00	—		
2021年9月期（予想）				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	159,000	13.4	28,000	28.7	28,100	23.8	20,600	24.7	133.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期3Q	165,041,841株	2020年9月期	165,027,259株
② 期末自己株式数	2021年9月期3Q	10,214,163株	2020年9月期	10,213,977株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期3Q	154,822,093株	2020年9月期3Q	154,807,106株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について .....	3
(3) 財政状態に関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により依然として不透明な状況にありましたが、半導体をはじめとした世界的なデジタル関連需要の拡大によって、輸出が増加するなど持ち直しの動きが継続するなかで推移いたしました。

このような状況におきまして、当社グループは、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止策を講じた上で事業に与えるリスクの最小化を図りながら、市場の要求に応えるべく生産活動を維持することで、売上高、利益の確保に努力する一方、ポストコロナを視野に入れ、将来に向けた積極的な設備投資を継続するとともに当社独自の光技術を活かした研究開発を推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績につきましては、売上高は121,866百万円と前年同期に比べ18,611百万円（18.0%）の増加となりました。利益面につきましても、営業利益は23,488百万円と前年同期に比べ7,388百万円（45.9%）の増加、経常利益は23,589百万円と前年同期に比べ6,924百万円（41.6%）の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は17,881百万円と前年同期に比べ5,705百万円（46.9%）の増加となり、増収増益となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### [電子管事業]

光電子増倍管は、医用分野におきまして、新型コロナウイルス感染症の影響により、PETなどの核医学検査装置向けの売上げが減少いたしましたものの、PCRやFCM（フローサイトメトリー）などの検体検査装置向けの売上げが国内外で需要が高まり増加いたしました。また、産業分野では半導体検査装置向けの売上げが海外を中心に増加いたしました。

イメージ機器及び光源は、医用分野におきまして、歯科用のX線シンチレータの売上げが減少いたしました。しかしながら、産業分野におきまして、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジン及び半導体ウェハ検査装置向けの光源の売上げが、半導体市場の復調を受けて増加いたしました。また、非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げも、基板検査や車載用バッテリー検査向けがアジアを中心に増加いたしました。

この結果、電子管事業といたしましては、売上高は46,928百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は16,078百万円（前年同期比16.6%増）となりました。

#### [光半導体事業]

光半導体素子は、医用分野におきまして、歯科用のフラットパネルセンサの売上げが、新型コロナウイルス感染症の影響からは急速に回復してきてはいるものの、前年同期比では減少いたしました。一方で、X線CT向けのシリコンフォトダイオードの売上げは、国内外における継続的な需要の増加により好調に推移いたしました。また、産業分野におきまして、半導体製造・検査装置向けのイメージセンサなどの売上げが、半導体市場の復調と拡大により増加いたしました。

この結果、光半導体事業といたしましては、売上高は56,406百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益は16,211百万円（前年同期比14.9%増）となりました。

#### [画像計測機器事業]

画像処理・計測装置は、食品X線検査用のX線ラインセンサカメラの売上げが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少いたしました。しかしながら、検体検査装置向けのボードカメラの売上げが、北米で増加いたしました。また、遠隔病理診断に用いられる病理デジタルスライドスキャナの売上げが、海外における病院間ネットワーク需要の高まりを受けて増加いたしました。

この結果、画像計測機器事業といたしましては、売上高は14,950百万円（前年同期比33.2%増）、営業利益は3,262百万円（前年同期比83.1%増）となりました。

#### [その他事業]

半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。

当セグメント（その他）の売上高は3,581百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は458百万円（前年同期は営業損失685百万円）となりました。

（2）新型コロナウイルス感染症の連結業績への影響について

新型コロナウイルス感染症の状況は、ワクチン接種進展に伴い収束に向けた動きがみられる一方、変異型ウイルスによる感染再拡大などもあり、依然として若干ながら連結業績への影響は残っております。このような状況下、半導体市場の復調並びに拡大、PCRなどの検体検査装置向けが順調に推移するなどにより、売上げについては新型コロナウイルス感染症流行以前の水準を超えて推移しております。

（3）財政状態に関する説明

流動資産の主な変動は、未収入金（流動資産その他）が3,048百万円減少したものの、現金及び預金が8,924百万円、受取手形及び売掛金が7,045百万円それぞれ増加したことなどから、流動資産は前連結会計年度末に比べ15,591百万円増加しております。

固定資産の主な変動は、有形固定資産が減価償却による建物及び構築物の減少などにより1,239百万円減少したことなどから、固定資産は前連結会計年度末に比べ951百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14,639百万円増加し、286,255百万円となりました。

流動負債の主な変動は、設備関係未払金（流動負債その他）が3,042百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が2,970百万円、賞与引当金が2,090百万円それぞれ増加したことなどから、流動負債は前連結会計年度末に比べ2,422百万円増加しております。

固定負債の主な変動は、長期借入金が3,029百万円減少したことなどから、固定負債は前連結会計年度末に比べ3,648百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,226百万円減少し、56,873百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより利益剰余金が11,677百万円、為替換算調整勘定が3,404百万円それぞれ増加したことなどから、当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ15,866百万円増加し、229,382百万円となりました。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年9月期通期の連結業績予想につきましては、2021年5月12日付けで公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、連結業績予想の前提となる為替レートにつきましては、1米ドル＝105円、1ユーロ＝125円、1中国元＝15.5円を想定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	73,763	82,687
受取手形及び売掛金	32,220	39,265
有価証券	6,634	8,663
商品及び製品	11,541	9,050
仕掛品	21,609	24,354
原材料及び貯蔵品	10,362	10,650
その他	7,316	4,397
貸倒引当金	△155	△184
流動資産合計	163,293	178,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,092	44,689
機械装置及び運搬具(純額)	12,525	12,256
工具、器具及び備品(純額)	5,028	5,004
土地	16,933	17,053
リース資産(純額)	469	365
使用権資産(純額)	616	697
建設仮勘定	3,674	5,034
有形固定資産合計	86,341	85,101
無形固定資産		
顧客関連資産	1,911	1,784
その他	3,124	3,055
無形固定資産合計	5,035	4,840
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081	3,857
繰延税金資産	11,226	10,870
その他	2,656	2,719
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	16,945	17,427
固定資産合計	108,321	107,370
資産合計	271,615	286,255

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,802	5,989
電子記録債務	6,030	6,765
短期借入金	1,511	1,994
1年内返済予定の長期借入金	69	3,039
未払法人税等	2,664	2,669
賞与引当金	4,500	6,590
その他	20,823	16,775
流動負債合計	41,402	43,824
固定負債		
長期借入金	6,280	3,250
厚生年金基金解散損失引当金	503	—
退職給付に係る負債	8,080	7,911
その他	1,834	1,887
固定負債合計	16,697	13,049
負債合計	58,100	56,873
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,964	35,008
資本剰余金	34,708	34,752
利益剰余金	166,357	178,034
自己株式	△20,795	△20,796
株主資本合計	215,234	226,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742	1,242
為替換算調整勘定	△2,152	1,252
退職給付に係る調整累計額	△1,144	△1,079
その他の包括利益累計額合計	△2,553	1,415
非支配株主持分	834	967
純資産合計	213,515	229,382
負債純資産合計	271,615	286,255

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	103,254	121,866
売上原価	52,104	62,353
売上総利益	51,149	59,513
販売費及び一般管理費	35,049	36,024
営業利益	16,100	23,488
営業外収益		
受取利息	155	97
投資不動産賃貸料	64	55
為替差益	127	—
持分法による投資利益	17	—
その他	363	445
営業外収益合計	727	599
営業外費用		
支払利息	41	39
不動産賃貸費用	94	86
為替差損	—	258
持分法による投資損失	—	68
その他	27	44
営業外費用合計	163	498
経常利益	16,664	23,589
特別利益		
固定資産売却益	54	22
補助金収入	—	805
投資有価証券売却益	1	5
厚生年金基金解散損失引当金戻入額	—	164
特別利益合計	56	997
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	15	31
固定資産圧縮損	—	441
減損損失	431	351
投資有価証券評価損	46	71
特別損失合計	493	896
税金等調整前四半期純利益	16,228	23,690
法人税等	4,024	5,739
四半期純利益	12,204	17,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,175	17,881



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	12,204	17,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	499
為替換算調整勘定	△91	3,455
退職給付に係る調整額	△3	64
持分法適用会社に対する持分相当額	3	12
その他の包括利益合計	△230	4,032
四半期包括利益	11,973	21,983
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,955	21,850
非支配株主に係る四半期包括利益	17	133

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

## (セグメント情報)

 I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年10月1日 至 2020年6月30日）  
 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	40,070	48,786	11,220	100,077	3,177	103,254	—	103,254
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,274	729	25	2,029	350	2,379	△2,379	—
計	41,344	49,515	11,246	102,106	3,527	105,634	△2,379	103,254
セグメント利益又は 損失 (△)	13,790	14,110	1,781	29,683	△685	28,997	△12,897	16,100

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△12,897百万円には、セグメント間取引消去△923百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,973百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- 3 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間（自 2020年10月1日 至 2021年6月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子管	光半導体	画像計測機 器	計				
売上高								
外部顧客への売上 高	46,928	56,406	14,950	118,284	3,581	121,866	—	121,866
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	806	370	6	1,183	670	1,854	△1,854	—
計	47,734	56,776	14,957	119,468	4,252	123,720	△1,854	121,866
セグメント利益	16,078	16,211	3,262	35,552	458	36,011	△12,522	23,488

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、半導体レーザーに係る事業、子会社の㈱磐田グランドホテルが営むホテル事業及び子会社の北京浜松光子技術股份有限公司の独自製品に係る事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△12,522百万円には、セグメント間取引消去△765百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,756百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び基礎的研究費であります。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 (固定資産に係る重要な減損損失)

「光半導体」において、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において351百万円であります。